

2024年12月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第240号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2024年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の web 展示について

2024年度の「アグリビジネス創出フェア in 東海」を12月5日～6日に開催しました。出展機関のデータ（映像、テキスト等）を「web 展示」として、東海生研ホームページ上で2025年1月17日（木）まで公開しています。

<https://www.biotech-tokai.jp/>

☆第50回ブルームフェス 2025 冬名古屋を開催します（1/7、8）

～リアルを、感じる。未来を、創る。～

名古屋で50年続く園芸・フラワー資材の見本市が開催されます。

（主催：福花園種苗株式会社）

皆さまのご来場をお待ちしております。

日時：1 卸・小売店様向け：2025年1月7日（火曜日）9時30分から17時

2 卸・小売店様向け：2025年1月8日（水曜日）9時30分から16時30分

3 一般来場者様向け：2025年1月8日（水曜日）13時から16時30分

※3は一般のお客様もご来場いただけます。

場所：名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）第Iファッション展示場

（名古屋市千種区吹上2-6-3）

今回の見どころ：・多数の園芸資材や観葉植物が登場

- ・人気園芸 YouTuber カーメン君が来場！
- ・最新の農業ドローン技術デモンストレーション
- ・3D プリントを活用した農業製品
- ・飲食ブースも複数登場予定！

入場料：無料（事前登録制）

詳しくはこちらをご覧ください。（登録もこちらから）

【公式サイト】<https://fukukaen.co.jp/exhibition2025/>

.....

2. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆2024年度近畿アグリハイテク公開セミナー「健康な土をつくる～ミミズが教えてくれること～」

日時：令和7年2月21日（金）14:00～16:00

場所：キャンパスプラザ京都4階第3講義室（京都府京都市下京区西洞院通塩小路下

る東塩小路町 939)

形態：ハイブリッド開催

内容：<https://agri-renkei.jp/2024/11/14/6599/>

☆セミナー「島根のワイン醸造とブドウの栽培、発酵の知恵を現地から学ぶ」

日時：令和 6 年 12 月 12 日（木） 13:15～17:00

場所：島根ワイナリー新館「シャトー弥山」（島根県出雲市大社町菱根 264-2）

内容：<https://agri-renkei.jp/2024/11/05/6557/>

☆セミナー「地域資源を活かした産地と食品産業の持続的な発展に向けて」

日時：令和 6 年 12 月 13 日（金） 13:30～16:30

場所：ノートルダム清心女子大学 トリニティホール 3 階 T31（岡山県岡山市北区伊福町 2-16-9）

内容：<https://agri-renkei.jp/2024/11/08/6424/>

.....

3. 2024 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆JST：「2024（令和 6）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

☆JST：「令和 6 年度ムーンショット型研究開発事業 日本 JST-アメリカ NSF-オーストラリア CSIRO-インド ICAR 日米豪印 4 カ国共同研究 AI-ENGAGE（Advancing Innovations for Empowering NextGen Agriculture）」

■民間等

☆公益財団法人日本食品化学研究振興財団：「令和 7 年度研究助成」

☆一般財団法人糧食研究会：「2025 年度研究テーマ募集」

2024 年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧ください。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆農産関係

○ドローンセンシングと可変施肥を組み合わせた「きぬあかり」の精密管理

小麦作において安定した収量・品質を確保するには、小麦の生育状況を正確に把握し、生育に応じた追肥を行うことが重要です。そのため、小麦「きぬあかり」において、これまでに開発した生育をドローンで省力的に把握し適正な追肥量を診断する技術と、可変施肥機*を組み合わせた精密追肥の効果を検証するとともに、経営評価を行いました。

(*GPS と肥料散布口の自動開閉装置が連動し、地点ごとに施肥量を設定できる施肥機)

精密追肥により不要な施肥を抑え、生育ムラを改善したことで、収量、タンパク質含有率の

バラつきが抑えられるとともに、外観品質は向上しました。10a 当たりの肥料費は 1,067 円減、売上は 2,656 円増で、収益差は 3,723 円増となりました。必要な機械等の経費は年間 33 万円程度増加しますが、10ha 以上の経営面積で、所得向上にもつなげられると考えられました。

・愛知県農業総合試験場 HP:2023 年愛知県農業総合試験場の 10 大成果

<https://www.pref.aichi.jp/nososi/>

☆果樹関係

○カンキツ園で使える軽トラ・アタッチメント式防除機

カンキツ産地では担い手の高齢化が進み、産地の栽培面積も減少傾向にあります。今後、産地を維持していくためには若い担い手への園地集積と、大規模経営が可能となる省力技術体系の確立が必要と考えます。そのためには、園地を列間伐して隔列で農業機械が走れる作業道を配置した形に整備することが必要です。農業機械としては、どこの農家にも普及している軽トラックに着目し、軽トラックを運搬用途だけにとどまらずに、安価で様々な作業機械に進化させるアタッチメント式作業機の開発を目指しました。今回は軽トラックの両側にブームノズルを取り付けたアタッチメント式防除機を開発し、年間の防除作業に利用してその実用性についても検証しました。

・令和 4 年度三重農研成果情報<普及成果>

<https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm> (三重農研 HP)

.....

編集後記

11 月下旬から 12 月にかけてようやくイチヨウの葉が黄色く色づき、遅れていた秋を堪能することができました。

12 月 5 日～6 日に開催しました「アグリビジネス創出フェア in 東海」では多くの出展機関、来場者にご参加をいただきました。また、多くの学生さんの参加をいただいて賑やかな開催となりました。感謝申し上げます。しばらくの間、コロナウイルスのパンデミックの影響により会場開催ができない時もありましたが、やはり対面の良さを実感しました。

皆様、この一年、本メールマガジンをご愛読いただき有り難うございました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。どうぞ良い年をお迎え下さい。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>